

迎春

新年のご挨拶



湯浅町長
上山 章 善

安心安全のまちづくり
活気あふれる湯浅町



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、町行政に対してご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。新年を迎え、気持ちも新たに、本年も町行政の運営に全力で取り組んでまいり所存でございます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響で、ここ数年は様々なイベントや行事の開催を見送ってききましたが、昨年はにわかい駅前フェスタや紀州湯浅のギョギョッとお魚まつり、ゆあさYYまつり、文化祭などを実施することができ、Withコロナとして新たな日常への第一歩を踏み出すことができました。新型コロナウイルス感染症との共存はこれからも続きそうですが、創意工夫を凝らしたイベントの実施

等、様々な取組を進めていきたいと考えております。

また昨年、地域福祉の拠点施設、かつ大規模災害時の福祉避難所としての機能をもつ、新たな地域福祉センターが完成いたしました。現在、引き続き地域福祉センター前に町民の皆様の集いの場となるよう公園の整備を進めているところであります。さらに、全面的懸念事項として昨年より着工しています方津戸の有田湯浅警察署付近から栖原地区の矢田団地につながる町道につきましても、本年新設道路が完成いたします。急勾配な坂で見通しが悪く対策が必要であると検討を重ねてきましたが、新しい道路が完成することで私の掲げる安心安全のまちづくりが前進するものと考えております。

もう一つ、新たな施設として湯浅駅旧駅舎については、町民の皆様の憩いの場として、さらに観光客の皆様にも気軽に立ち寄れる施設として、本年春頃のオープンに向け準備を進めています。これらの施設が完成いたしますと、世代を超えた交流で町全体が賑わい、若い世代の方に住みたいと思っていいただけるまちづくりにつながるものと期待しております。

本年も、町民の皆様からのお声を大切に、引き続き町政運営に精一杯尽力してまいりますので、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が皆様方にとって、健康で喜びと幸せに満ちた年となりますことをお祈りいたしまして、新年のご挨拶といたします。

ふるさとの
新たな一年のはじまりに

湯浅町議会議長
横矢 政明

明けましておめでとうございます。謹んで町民の皆さまに新春のお慶びを申し上げます。旧年中は町議会に対しまして、温かいご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年2月には和歌山県がまん延防止等重点措置の実施区域となる等、今なお新型コロナウイルス感染症の影響が続いていますが、いわゆる新しい生活様式の広がりや、新たに飲み薬が承認されるなど、まだまだ油断はできない中にも徐々に出口が見えてきているように感じています。

そのような中10月に開催されました、にぎわい駅前フェスタにおけるフォトゲニング大会には、まちなかの賑わい創出の一助となるよう、町議会として議員2チームで参加いたしました。また、醤油醸造家の姿を保存活用した旧栖原家住宅の修復が完了し、重要伝統的建造物群保存地区を散策する来訪者の利便性向上のための休憩施設として「まちなみの駅 湯浅」が完成するなど、人々の移動も段階的に戻りつつある中で、ふるさと湯浅町の魅力を町内外へ発信するというアフターコロナを見据えたまちづくりが進められています。

その一方、海外ではロシアによるウクライナへの軍事侵攻が起り、エネルギー価格をはじめ様々な物価が高騰し、また、度重なる北朝鮮のミサイル発射によりアラートが発表されるなど、刻々と変化する国内外の情勢は、社会のグローバル化により私たちの生活にも影響を及ぼしています。

町議会をいたしましても、日々研鑽を積み、あらゆる世情や町民の皆さまのお声に真摯に耳を傾け、町行政と十分に議論を重ね、情勢に迅速かつ柔軟に対応し、ご期待に沿えるよう町の発展に全力を尽くしてまいりますので、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しいこの一年が町民の皆さまにとってより良い年となりますことを心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

誇れるふるさと
湯浅町の教育をめざして

湯浅町教育委員会教育長
垣内 淳

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様方におかれましては、健康やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より湯浅町の様々な教育活動に対し、温かいご理解とご協力を頂きまして誠にありがとうございます。

昨年は、旧堀田茶舗が国の登録文化財に指定されたことから始まり、逆川王子跡が国史跡に、角長(加納家住宅)が国の重要文化財(建造物)に指定されました。本町の歴史や文化が国レベルで認められたことをとてもうれしく思います。更に、湯浅における醤油醸造の様子を今に伝える豊富な資料群とともに、日本遺産「最初の一滴」醤油醸造発祥の地 紀州湯浅の日本遺産ストーリーを理解するための施設として、旧栖原家住宅をオープンすることが出来ました。まだまだコロナ禍での生活を余儀なくされていますが、このような出来事が続き、喜びの多い一年となりました。

さて、現在は明治維新、戦後に続く第三の大きな教育改革期だと言われています。社会の大きな変化に伴い、その社会に求められる力を育成する学校教育も変わらなければなりません。知識を活用して意見をつくり、討議し、新しいものを創造していく力が求められています。学校での学びが、湯浅を日本を世界を更に良くしていく意欲や能力に繋がり、仲間と協働しながら自分の人生を素晴らしいものにしていく子供たちを育てていきたいと考えています。

この急激な社会の変化は、大人の学びや今後の地域の在り方にも大きく関わることが予想されます。予測困難なこれからの社会において、湯浅の将来を担う子供たちをどう育てていくのか、地域の未来をどう描いていくのか、答えのない課題に、地域みんなが熟議し、協働いただきながら取り組んで参りたいと考えています。

結びに、豊かな自然環境と古くからの歴史・文化資源を有する人情味あふれる湯浅町をこれからも大切にしながら、更に発展させていくため、幼児教育、学校教育、社会教育を連携包括した取組の充実を図って参りたいと考えておりますので、今後とも教育委員会の施策等に何卒ご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

皆様方のご健康とご多幸をお祈りして、新年のご挨拶といたします。

謹んで新年のあいさつを
申し上げます

教育委員会
職務代理
委員

垣内 淳
井上 栄次
竹井 沙賢
申井 瑞良

副町長
副議長
議長

横矢 政明
石橋 千也
石橋 光人
久澄 顕
山本 哲
板垣 善夫
三ツ橋 忠男
由良 祥治
松本 典久



広報 PUBLIC INFORMATION OF YUASA

ゆあさ

1月号
VOL.578

CONTENTS

- P2 新年のご挨拶
- P4 特集 私たちみんな卯年生まれ
- P6 町の話
- P9 町内一斉 津波避難訓練/湯浅駅旧駅舎へ子どもたちの思いが詰まった屋根を設置
- P10 出産・子育て応援交付金事業が始まります
価格高騰緊急支援給付金(5万円給付)の申請締切が迫っています
令和5年度湯浅町地域イベント助成事業補助金の事業者を募集します
- P11 新型コロナウイルスワクチン接種のお知らせ/集団健診のご案内
- P17 地域包括支援センターだより
- P22 小中学校 人権教育研究発表会を開催しました
第1回ハッピージョイントコンサート
- P23 1月カレンダー/湯浅えき蔵図書館でみて!